

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者の、若者による、若者と地域の為の『I♡豊丘(あいらぶとよおか)』推進事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村若者交流実行委員会 0265-35-9053
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,400,906 円

事業内容

少子高齢化、人口減少が進み、若者の地元・地域離れが懸念されるなか、地域のイベントを通じて、若者が活躍できる場を創出し、若者と地域を繋ぐきっかけづくりに取り組みました。

○福島てっぺん公園「灯籠まつり」

時期：7月15日、16日 会場：福島てっぺん公園、福島春日神社、福島会所

参加者：若者ボランティア、地元の子ども達、ステージ発表出演者、福島区民、観光客

来場者数：延べ800人

福島てっぺん公園、福島春日神社、これらをつなぐ道路に、灯籠、提灯を飾り、点灯しました。地元小学校の6年生に卒業制作として灯籠に夢を書いてもらい、「夢ロード」と題して、会場に飾りました。

地元保育園児に提灯に絵を描いてもらい、会場に飾りました。

若者ボランティアを募集し、準備からイベント運営までを一緒に行いました。

イベント初日は、地元団体を中心にステージ発表、点灯式を行い、イベントを盛り上げました。

また、提灯づくりの体験コーナーも設け、多くの来場者が参加してくれました。

○福島てっぺん公園「イルミネーション」

時期：12月16日～25日

会場：福島てっぺん公園

参加者：若者ボランティア、地元の子ども達、ステージ発表出演者、福島区民、観光客

来場者数：延べ3,900人

福島てっぺん公園にイルミネーションを点灯しました。

地元保育園児にツリーを制作してもらい、会場に飾りました。

若者ボランティアを募集し、中学生から社会人まで、準備を一緒に行いました。

イベント初日は、点灯式を行い、地元団体のファン



【灯籠まつり】



【イルミネーション】

フェアレによりイベントを盛り上げました。

また、期間中には、ステージ発表などのイベントも行いました。

○SNSフォトコンテスト

灯籠まつり、イルミネーションイベント当日の写真をSNS（インスタグラム、ツイッター）に投稿してもらい、その中から福島区とともに入賞作品を選定しました。入賞者には地元特産品を贈呈しました。

【目標・ねらい】

事業効果

- ① 地元保育園、小学校、中学校と連携し、作品やボランティア通じてイベント作りから参加してもらうことができ、イベントや地域に愛着を持ってもらうことができた。また、子ども達の参加により、その家族などがイベントへ意識を向けてくれた。
- ② 若者の視点でイベントの拡充を図り、若者をはじめとして、昨年よりも観光客が大幅に増加した。また、若者ボランティアを広く募集し、村内外から参加してもらうことができた。
- ③ SNSを活用したイベントを行うことにより、若者が発信してくれ、イベント・豊丘村のPRを行うことができた。

- ①子どもの頃から地域のイベントに参加することにより、地域への愛着を深める
- ②若者の視点でイベントを盛り上げることにより、観光客や若者の交流人口の増加を図る
- ③若者の発信力を活かし、イベント・豊丘村のPRを行う

※自己評価【 A 】

【理由】

若者が活躍できる場をイベントを通じて創出し、地元の若者の地域への愛着を深めるとともに、若者をはじめとする観光客の増加を図ることができた。

また、新たな方法でイベント・豊丘村をPRすることができた。

今後の取り組み

- ・今後も、地元と協力してイベントを開催し、内容の充実を図り、観光客の増加を目指す。
- ・ひとつの地域のイベントではなく、豊丘村全体で盛り上げられるよう、ボランティアなどを通じ、多くの人にイベント作りに参加してもらえるよう、PRしていきたい。
- ・この事業が恒例行事となり、子ども達が成長していくなかで、地元を想うきっかけとなってもらえるよう、引き続き、保育園、小学校、中学校と連携していく。
- ・当団体としても、主催イベントだけでなく、村の行事にも更に積極的に携わり、若者の視点からSNS等で情報発信していきたい。